

寶林精舎

《題字・森神紫陽》

晋山式しんざんしきの詳細しょうさい

分衛所ぶんゐいしょ

法要時間／24日午前8時
場所／佐伯市直川下直見
江河内



分衛とは托鉢のことで、托鉢は食を施して頂く乞食の事です。禅の修行における托鉢は単に経済的な援助ではなく、精神的な意義と工夫がなされています。

網代傘に草鞋の姿で行脚する修行僧の休息場所を「分衛所」と言います。晋山するために新命和尚が行脚して最初に立ち

寄りお茶を頂く場所です。この度の分衛所は甲斐照光総代さんのお宅をお借り致します。

和尚さんが8名その他に総代さんや役員さんなどが立ち会います。お近くの方は是非お参りください。

安下所あんげしょ

法要時間／24日午前9時
場所／佐伯市直川赤木久留須



安下所とは新命和尚の臨時宿所です。身支度を整える場でもあります。

「安下」とは、行李を解いて安息する事を言います。行李とは柳行李などが一般的で現在の「衣裳ケース」の事です。安下所には檀信徒より

支度された法衣・袈裟などが用意されて、正定寺から迎えの使者（法類の和尚さん）が出向きます。この度の安下所は安藤廣美総代さんのお宅にお願ひ致しました。この安下所から晋山行列が行われます。



稚児ちご

稚児行列／24日午前9時
20分出発
(稚児集合／午前8時40分)

場所／安藤廣美家前から直川中央公民館

稚児は平安装束の稚児衣裳を着て、男子は烏帽子・女子は天冠をかぶり、額には「位星」と

臨時號（第57號）

正定寺花園会広報

平成24年冬発行 発行所 一部単価135円(非売品)

檀信徒数 市内：325戸 市外：74戸

〒879-3104 大分県佐伯市直川大字仁田原 寶林山正定寺内

TEL0972 (58) 2190 FAX0972 (58) 2192

URL <http://syojoji.com/> e-mail shoji@saiki.tv

住職 小原 寿山 副住職 小原 南陽

呼ばれる丸を黒で入れま
す。

単なる装飾ではなく神
仏聖として行列に参加し
ます。稚児は「神仏の子」
なので付き添いの方も神
仏の相伴として参列しま
す。お世話頂く方々が礼
服なのは神仏の相伴や神
仏に直接かかわる役柄だ
からです。

茶礼所

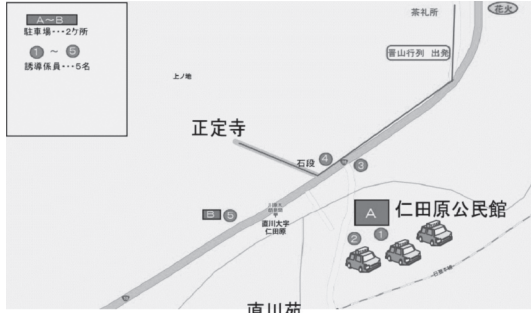
法要時間／24日午前10時
晋山行列／24日午前10時
40分出發
場所／佐伯市直川仁田原
上の地



茶礼とはお茶を呑むこ
とです。湯飲み茶碗に少
しのお茶を注ぎ一同介し
て一斉に頂きます。

茶礼所は行列の途中で
休憩をしてお茶を頂く所
です。この度は小野道夫
家のお宅にお願いを致し
ました。

この場所からいよいよ
正定寺山門に向かって晋
山行列が再び行われます。
30年前はこの小野家が
安下所となり稚児行列を
行いましたが、交通事情
などから新命・役付の和
尚さんそれに役員さんな
ど20名程の行列で正式な
参道である164段の石
段を上り山門を目指しま
す。お近くの方は是非お
参りください。



稚児行列

稚児行列は「安下所」
と呼ばれる所から出發し
ます。

稚児は11月24日午前8
時40分に集合致します。
駐車場にはそれぞれ誘
導員が待機していますの
で指示に従ってください。
新命和尚さんと随喜の
和尚さんや役員さんやお
稚児さんなど総勢150
人ほどの行列になります。
お稚児さんの参加者は
0才から13才まで56名が
平安時代の稚児衣裳に身
をつつんで新しい和尚さ
んのお祝いに華を添えま
す。

万延元年に造られた
「権門道中駕籠」も84年
ぶりに門外に出て行列に
並びます。
先頭は羽織袴や袴姿で
行列を寶林山へと導きま
す。山に晋ので「晋山式」
と言います。
正定寺の山号は寶林山
と言います。

- 1 増尾有花ちゃん
- 2 増尾綾香ちゃん
- 3 久保田楓子ちゃん
- 4 久保田恭平くん
- 5 山口桔平くん
- 6 山口愛莉ちゃん
- 7 寶戸美咲ちゃん
- 8 寶戸拓海くん
- 9 森下春翔くん
- 10 森下小夏ちゃん
- 11 勝 心ちゃん
- 12 勝 栄心くん
- 13 山本真士くん
- 14 山本隼士くん
- 15 盛田葉瑠ちゃん
- 16 盛田凜ちゃん
- 17 林 星輝くん
- 18 林 来夢ちゃん
- 19 宮野祐作くん
- 20 宮野理子ちゃん
- 21 小野丈太郎くん
- 22 小野美々花ちゃん
- 23 染矢虹歩ちゃん
- 24 染矢萌葉ちゃん
- 25 染矢快吏くん
- 26 佐倉瞬華ちゃん
- 27 佐倉聖愛ちゃん
- 28 小野由貴くん
- 29 小野史貴くん
- 30 阿部暎太郎くん
- 31 阿部遙馬くん
- 32 尾形聡真くん
- 33 尾形魁斗くん
- 34 渡邊蒼空くん
- 35 小野匠大くん
- 36 井上琴音ちゃん
- 37 川内桜諒くん
- 38 宇都宮有咲ちゃん
- 39 甲斐陽向ちゃん
- 40 竹島希ちゃん
- 41 戸高夏穂ちゃん
- 42 高橋颯太くん
- 43 戸高綾乃ちゃん
- 44 小野夏希ちゃん
- 45 下川あおいちゃん
- 46 伊東羽流くん
- 47 佐伯拓海くん
- 48 甲斐柚羽ちゃん
- 49 本 琥太朗くん
- 50 甲斐栄光くん
- 51 川野奨太くん
- 52 小野正晴くん
- 53 戸高颯斗くん
- 54 高辻柑奈ちゃん
- 55 佐藤京香ちゃん
- 56 染矢柚奈ちゃん

晋山式のQ&A

Q1 晋山式はいつですか？

A 11月24日（土）です。

周辺に4ヶ所あります。誘導員の指示に従ってください。

Q2 行事は何時からですか？

A 午前11時から正定寺の山門と本堂で行われます。

Q6 出席のハガキを出しました。どうすればいいですか？

A 午前9時から10時30までに本堂前の受付に行ってください。

Q3 駐車場はどこですか？

A 仁田原公民館です。大般若と同じようにタクシーに乗り換えてください。

Q7 おつつみをしたいのですか？

A お祝いですから封筒は紅白か金銀の祝儀袋です。

Q4 稚児行列を見るのはどうしたらいいですか？

A 午前9時20分から久留須町内で見られます。

Q8 祝儀袋にはなんて書くのですか？

A 「お祝い」とか「御祝儀」と書いてください。お名前はフルネームでかいてください。

Q5 稚児行列を見る駐車場はどこですか？

A 中央公民館や久留須

Q9 一律の寄付をしているのですが、おつ

みはしなければいけないのでしょうか？

A そんなことないですよ。手ぶらでどうぞ。ご案内状のように、帰りにはハコ膳（お昼弁当）をお持ち帰りください。参拝者の人数分を用意しています。

て下さい。

Q10 法要はどこで見られますか？

A 本堂にも上がれますが外から椅子に座って見ることができません。

Q14 小野道夫さんの所も見学できますか？

A できません。駐車場は上の地の旧道に停めてください。

Q11 雨が降ったらどうなりますか？

A 晋山式の法要は有りません。

Q15 法要は何時間ぐらいで終わりますか？

A 1時間10分の予定です。正午過ぎには終わる予定です。

Q12 役員ではないのですが行列と一緒に歩くことができますか？

A お稚児さんの後に続いて行列できます。

Q16 帰る時はどうすればいいですか？

A 「観音堂」でハコ膳（祝儀弁当）をもらって帰ります。

Q13 甲斐照光さんの所も見学できますか？

A できません。駐車場は江河内の集会所に停め

Q17 出席にしています

が当日いけない場合はお弁当はどうなりますか？

A 申し訳ありませんが送り膳は致しません。

Q18 記念品は当日参拝しないともらえないのですか？

A 全檀信徒に晋山式の

記念品があります。後日、世話人さまがお配り致します。当時のお接待はみなさまからの寄付金の中からではなくてお寺からのお礼です。

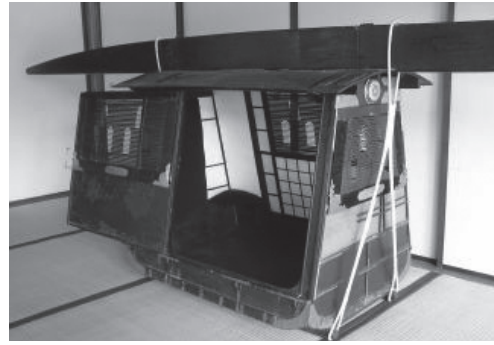
Q19 ハガキを出したかどうか忘れました。確認するにはどうしたらいいですか？

A 地区世話人さんが再確認を致します。参加できなくなったら必ず取り消しを伝えてください。

他に分からない事は正定寺へ連絡してください。



けんもんかご 権門駕籠



この権門駕籠は江戸期に造られたもので、鶴谷城（藩主毛利公）への登城や寺院の行事、また篤志檀家の葬儀などに使用された道中駕籠です。両側面には正定寺の定紋である「鞠鉢みに左り三つ巴」と「五三の桐」の表紋の二つの紋が記されています。

定紋は駕籠が正定寺住職のお駕籠で在ると人目で特定出来るように造られた貴重なもので、当時の正定寺と寺院の寺格を示す上で貴重な文化財です。

この駕籠を最後に使用したのは、昭和4年7月（83年前）の林宇三郎氏の葬儀で當山第21世千巖和尚が道中に使用したのが最後と記されています。それ以前にも篤志者の葬儀へ出向いた話も伝わっています。

駕籠で出向く葬儀を「お駕籠招待」とか「お駕籠あつらえ」などと言つて昔の人は『うちの先祖は駕籠招待をした』とか『先祖が駕籠をあつらえた』などと信仰心の篤さを誇らしげに語っていました。

現存する最古の寄附帳である第13世透隣和尚が記した宝暦11年（1761）祠堂日誌の中に、「地藏菩薩像」を寄進した佐藤与三兵衛を初め、小屋敷茶畑を寄進した小野六右衛門など現在の正定寺宝物や什物などが細かく記されている書物があります。

しかし、文化・嘉永・明治時代の各歴代和尚が残した寄附帳にも、駕籠の由来を知り得る記載がありません。

駕籠の正面にある菊の紋の裏板から「万延元年七月云々（1860）」（152年前）と記されたものがありますが、その年に造られたのか、或いは修理されたのかは判りません。

十六弁の菊紋は、正定寺では大般若理趣分経にも同じく施されています。

【駕籠の外装仕様】

- 一、本体黒漆塗り、蝶番金具銅・真鍮仕上げ
- 二、菊の御紋（前後十六弁・周囲六十四弁）
- 三、天井跳ね上げ絡繰り片開き
- 四、扉左右両面引き戸開き

五、簾（すだれ）正面左右三方巻上開き

六、轆（ながえ）吊り金具天板に二カ所

【駕籠の内装仕様】

一、座席（畳半帖一名乗り）

二、窓（正面上・両横左右障子開き二筋）

三、座布（左右肘掛け・背部あて）

四、前机（跳ね上げ式・損壊）

【駕籠の寸法仕様】

一、轆（ながえ・担ぎ棒）全長 424・2センチ（14尺）

二、駕籠（かご）全長 120・0センチ（3尺9寸6分）全幅 73・8センチ（2尺4寸4分）全

高屋根部まで88・0センチ（2尺9寸）全高轆部まで102・5センチ（3尺3寸8分）

三、人力担ぎ手 前後2名（計4人仕様）

本堂の天井に約80年間保存されていました駕籠も老朽化したので、檀信徒の発願と篤志者のご信援で平成20年秋に修理が行われました。普段は本堂の天井につられています。



普段は本堂の天井に下がっています

第31回九州東教区花園地方研修大会

平成24年9月12日（水）別府亀の井ホテルで大分万寿寺僧堂の佐々木道一の林 学道師を講師に迎え「第31回九州東教区花園地方研修大会」が行われました。

正定寺からは女性部役員が出席致しました。

午前10時40分から基調講演、お昼か



らは研修体験報告などが行われ午後3時に散会となりました。



会場は満席でした



参加した大竹琴美部長・戸高松栄副部長・安藤いつ子副部長
広瀬芳子事務局と新命和尚・ご寺庭



花園女性部の ボランティア活動

20年以上続く直川苑（老人施設）へのボランティア活動。女性部会員のみなさまから集められたタオルが役員から贈られました。
入苑者を代表して廣瀬宏子さんと河野シメさんが受け取られました。



平成24年秋季彼岸法要

平成24年9月21日（金）午前11時より秋季彼岸法要・山門大施餓鬼会が90名余りの参拝者とともに573霊の水塔婆供養が五色の幡が舞う本堂で行われました。近隣の11名の和尚さんによる施餓鬼声明の中、1時間10分の法要が無事に終わりました。



参拝者



焼香する檀信徒



水向けする導師



五百靈の戒名を唱える



焼香する檀信徒

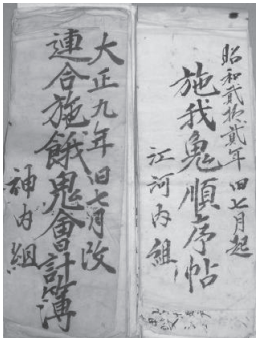


観音堂でお接待

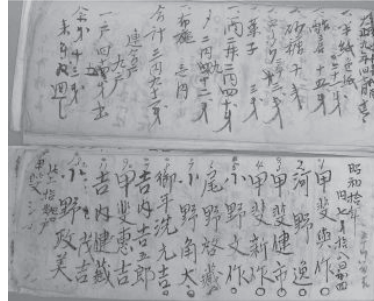
昔の孟蘭盆地区施餓鬼

お盆は各地域で施餓鬼棚をあつらえて座番を持ち回りして地域ぐるみで施餓鬼法要を行っていました。

私が京都から戻った昭和57年頃は「江内・神内・向船場・久留須・堂師・間庭」などいくつかの地域で「地区施餓鬼」が行われていましたが、平成10年頃「地区施餓鬼」を取りやめて現在の「秋彼岸山門施餓鬼会」を全檀信徒を対象にして行うようになりました。



地域に残っている施餓鬼帳面



細かに記されています

水卒塔婆や小幣

戒名が書かれた水卒塔婆は、名の由来のごとく本来は川に流し（水供養）したものです。

よく見かける年回・年忌で使われる卒塔婆とはちがい、別名「経木卒塔婆」と言われ教典（お経）を書いていたものです。

その後、施餓鬼法要で使用され、戒名を記して先祖の供養を行う塔婆となりました。

お盆と同じ先祖供養がなされる彼岸の時に正定寺では「山門大施餓鬼法要」が行われます。

この水卒塔婆は小幣（五色の幡）と共に現在は墓前にお供え致します。

小幣はご先祖を救ってくださる二十五菩薩を型取ったものです。

水卒塔婆は墓前にお供えしてお参りするたびに水を掛け供養します。

水の事を「閻伽」と呼び中国では「供養」を意味します。

「施餓鬼法要」の事を「甘露法要」・「閻伽法要」・「水陸法要」等と呼び、ここからお墓参りに撒くものを「水の華（小豆・米・野菜）」と言い、お墓に供える水を「あか」と呼ぶようになりました。

卒塔婆はインドの言葉で「スツーパー」と言い、お釈迦様の舍利（お骨）を納め供養した高い塔の事を言います。

